

NPO 法人映画保存協会

年報 2021

Annual Report 2021 [April 2021 – March 2022]

Film Preservation Society, Tokyo

目次

ご挨拶/寄付への御礼/活動カレンダー	2
会員名簿	3
プロジェクト	4
報道・掲載されました/広報	5
収支報告	6

ご挨拶

2021 年度、小会は国際交流基金アジアセンターの助成を受け、初の国際プロジェクトに取り組むことになりました。それが無料のオンライン・プラットフォーム、「Korektif Asia（コレクティブ・アジア）」です。コロナ禍が長引き対面イベントの開催や海外渡航が困難になるなか、15 年前から参加してきた東南アジア太平洋地域視聴覚アーカイブ連合（SEAPAVAA）を通して出会ったタイやインドネシアの仲間とともに配信事業に挑戦し、映画の持つ新たな可能性を実感しました。また、10 月にはユネスコ世界視聴覚遺産の日の記念イベントの一環として、会員が福岡市総合図書館（福岡フィルムアーカイヴ）で講演をする機会を得ました。年度末には、無声映画伴奏者・柳下美恵さんが長年取り組むプロジェクト「映画館にピアノを！」の窓口として、新たにフライヤを作成いたしました。国内における無声映画上映の益々の発展を祈るばかりです。

なお、2021 年度は年間を通して以下の皆様より計 190,500 円のご寄付を賜りました。会員一同、心より感謝いたします。今後ともご指導のほど何卒よろしくお願いいたします。

映画保存協会 理事会（天野園子、石原香絵、日比野郷枝）

寄付への御礼

以下の皆様にご寄付をいただきました。記してここに感謝いたします。

田中 重幸 様／東京都／[KADOKAWA]

山田 広野 様／東京都／活動写真弁士

柳下 美恵 様／神奈川県／サイレント映画ピアニスト

島 啓一 様／東京都／[根津映画倶楽部]

大森 くみこ 様／大阪府／活動写真弁士

天宮 遥 様／兵庫県／サイレント映画ピアニスト

谷合 佳代子 様／大阪府／[エル・ライブラリー（大阪産業労働資料館）]

平野 共余子 様／東京都

活動カレンダー

4 月：コレクティブ・アジア開始

6 月：東京都内 視聴覚ライブラリー調査（第 11 回）、「年報 2020」発行

9 月：コレクティブ・アジア終了

10 月：第 19 回〈ホームムービーの日〉

3 月：映画館にピアノを！フライヤ作成、配布開始

2021 年度の会員名簿

理事会 4 名：

天野 園子

石原 香絵

日比野 郷枝

山口 博哉

団体会員 11 団体：

一般社団法人記録映画保存センター

株式会社足柄製作所

株式会社東京現像所

株式会社東京光音

共進倉庫株式会社

株式会社ギンレイシネマックス

神戸映画資料館

コガタ社

谷根千工房

ヤマナシ・ヘムスロイド・インターナショナル

株式会社ワイ・プランニング

正会員 7 名（理事 4 名、匿名希望 2 名を除く）：

児玉 優子

鈴木 伸和

竹森 朝子

北村 昌子

三浦 和己

宮野 起

山下 裕喜



プロジェクト

ホームムービーの日 Home Movie Day, HMD

第19回HMDは各地で縮小開催、延期、または中止を余儀なくされ、引き続き全国的な宣伝は控えたが、東京都・調布会場のオンライン開催等、新たな試みも行われた。

映画の里親

第一回映画の里親作品『モダン怪談 100,000,000 円 [松竹グラフ版]』が以下の場で上映の機会を得た。※印は 35mm 上映。

【8月6日（金）】こども映画館※

会場：国立映画アーカイブ／弁士：坂本頼光、演奏：湯浅ジョウイチ、鈴木真紀子

【8月8日（日祝）、8月9日（月祝）】映画タイムマシン vol.9 サイレントプログラム※

会場：川崎市アートセンター アルテリオ小劇場／弁士：大森くみこ、演奏：柳下美恵

【8月14日（土）】宵まち会津 山田広野の納涼蔵出し大活弁

会場：末廣酒造 嘉永蔵／弁士：山田広野

【8月28日（土）】宵まち会津 山田広野の納涼あやかし大活弁

会場：竹藤／弁士：山田広野

【11月28日（日）】片岡一郎・大森くみこの活弁二人会

会場：シアターセブン／弁士：大森くみこ

【3月14日（月）】山田広野の蔵出し活弁劇場

会場：ザムザ阿佐ヶ谷／弁士：山田広野

災害対策部

視聴覚資料はいつ自然災害によって被災するとも知れず、過去に発表された災害対応の情報を引き続き収集・周知する活動を行っている。また、川崎市市民ミュージアムの被災資料のレスキューを継続し、実用的なレポートの共有に努めている。2021年7月には、株式会社アルプスピクチャーズより依頼のあった東日本大震災で被災したカセットテープ4本を洗浄した。そして同月、川崎市市民ミュージアムの連載企画「川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキューの記録」の取材を受け、2022年2月、国立映画アーカイブの機関紙「NFAJ ニュースレター」（第15号）[通巻149号]に「ビデオテープの自炊マニュアル」を、そして3月、「川崎市市民ミュージアム 紀要2021」に「水損した映画フィルムの応急処置とデジタル化——川崎市市民ミュージアムの事例——」寄稿した。

報道・掲載されました

【毎日新聞 西部朝刊 11 月 20 日（土）】＜土曜カルチャー＞「映像資料収集・保存 フィルムアーカイブ 福岡 アジア映画、世界有数」という見出しの記事に会員のコメントが掲載された。

【福岡市総合図書館 12 月 15 日（水）】会員の講演『福岡フィルムアーカイヴの重要性』が PDF 公開された。

【NFAJ ニュースレター 第 15 号 1 月 29 日（土）】

「連載 フィルムアーカイブの諸問題」の「TOPICS」に会員のジャン・ミトリ賞受賞が紹介された。

【毎日新聞 西部夕刊 2 月 2 日（水）】＜憂楽帳＞「“遺産”の活用」というコラムで会員の活動が紹介された。

【毎日新聞 大阪夕刊 2 月 5 日（土）】＜岐路の風景＞「フィルム 2 万本超、神戸映画資料館 何でも収集、社会の財産に 「復興の象徴に」 設立 15 年」という見出しの記事に会員のコメントが掲載された。

広報

メールマガジン

「まぐまぐ」のサービスを利用して不定期メールマガジン「メルマガ FPS」を配信している。2021 年度は第 170-174 号まで計 5 号を発行し、購読者数は計 637（2020 年度）から 672 に増加した。

メーリングリスト

2008 年 9 月より誰もが登録できるメーリングリストを開設している（2022 年 3 月現在 参加者 151 名）。

SNS

・ツイッター（@filmpres）：2011 年 10 月に開設し、フォロワー数は 5,062（2020 年度）から 5,315 に増加した。HMD 広報用アカウント@hmd_japam のフォロワー数は 2022 年 3 月現在 3,033 である。

・フリッカー：主に会員が撮影した計 8,200 点以上の画像を共有している（一部アクセス制限あり）。

・フェイスブック：ウェブサイトの英語版を代替するものとして開設している（2020 年度 1,065 → 2021 年度 1,105 いいね!）。

無声映画上映カレンダー

2014 年 1 月以来、東京都内を中心に無声映画の上映情報を掲載している。

収支報告

収入の部〔入会金・会費〕 241,000 円

〔寄付金〕 309,240 円（内、一般からの寄付金 190,500 円）

〔事業費（コレクティブ・アジア）〕 4490,540 円

〔予備費〕 352,780 円

〔その他の収入（利子）〕 3 円

収入合計 5,393,563 円

支出の部〔事業費〕 4,638,988 円

（コレクティブ・アジア）

オンライン配信技術料 1,162,540 円

謝金（通訳・翻訳・ゲスト） 3,378,000 円

源泉徴収税 20,418 円

送金手数料 18,440 円

（映画館にピアノを！）

印刷費 59,590 円

〔管理費〕 754,575 円

修繕費 10,000 円

旅費交通費 19,820 円

通信運搬費 71,504 円

会費・寄付金 93,818 円

会議費 28,540 円

印刷費 4,410 円

消耗品費 39,713 円

文献・資料費 34,129 円

予備費 450,056 円

雑費 2,585 円（振込手数料等）

支出合計 5,393,563 円

収支差額 0 円

NPO 法人映画保存協会 年報 2021

発行：NPO 法人映画保存協会

発行日：2022 年 5 月 20 日（PDF 全 6 頁）